

尾道系崎港機織地区国際物流ターミナル整備事業

【尾道系崎港機織地区国際物流ターミナル整備事業の目的】

尾道系崎港機織地区において、大型の原木輸送船が利用可能となる施設を整備することにより、物流コストが削減されることで利用企業の競争力が向上し、地域経済に貢献する。



【事業の効果】

船舶大型化による輸送コスト削減

- ・ 泊地(水深10m)の整備に伴い、34,000DWT級の原木輸送船が入港可能となる。

事業実施前
【水深7.5m】



対象船型: 26,000DWT



仕出港



尾道系崎港(水深7.5m)



事業実施後
【水深10m】



対象船型: 34,000DWT



仕出港



尾道系崎港(水深10m)